

沖縄の酒類製造業の振興策に関する検討会の開催について

平成29年4月14日
沖縄振興局長決定

1. 趣旨

沖縄の酒類製造業は、製造業が少ない沖縄における貴重な地場産業であり、雇用の確保や地域経済の振興等で重要な役割を果たしているが、近年、特に泡盛の出荷数量が減少傾向にあるなど、厳しい状況が見られるところである。また、沖縄の本土復帰に伴う激変緩和措置として講じられてきた酒税の軽減措置については、本土復帰後45年を迎えるところである。

こうした状況を踏まえ、泡盛製造業の自立経営の確立に向けた方策について、幅広く意見を聴取し議論するため「沖縄の酒類製造業の振興策に関する検討会」（以下「検討会」という。）を次により開催する。

2. 構成員

- ・ 検討会の構成員は、別紙のとおりとする。
- ・ 検討会の座長は、沖縄振興局長が指名する。
- ・ 座長は、検討会の議事を整理する。
- ・ 検討会には、国又は県の担当者及び必要に応じ構成員以外の者を出席させることができる。

3. 会議等

- ・ 会合は、東京又は沖縄県那覇市において開催する。
- ・ 会合は、酒類製造業の企業秘密等も含め自由な意見交換を担保する観点から原則として非公開とし、会合終了後、内閣府ホームページに議事要旨を掲載する。

4. 庶務

会合の庶務は、沖縄総合事務局の協力を得て、沖縄振興局において処理する。

5. その他

前各項目に定めるもののほか、運営に関し必要な事項は、座長が別に定めることができる。

(別紙)

沖縄の酒類製造業の振興策に関する検討会 構成員

小泉 武夫 東京農業大学名誉教授
下地 芳郎 琉球大学教授
出口 尚 経済アナリスト
長谷川浩一 (株)はせがわ酒店代表取締役社長
花牟礼真一 三井物産(株)那覇支店長
浜野 京 信州大学理事
安田 正昭 琉球大学名誉教授
結城 摂子 マンダリン工房・フードコーディネーター
渡邊 賢一 (一社)元気ジャパン代表理事